

# 発進

## 「常陸大宮市」

5町村の合併により、平成16年10月16日、県下23番目の市「常陸大宮市」が誕生しました。当日は、市役所開市式、総合支所開所式、市制施行記念式典などが行われ、多くの方々が新市の門出を祝うとともに、魅力と活力のあるまちづくりへの決意を新たにしました。



幡山 耕一 常陸大宮市議会議長



矢数 浩 常陸大宮市長

この10月16日、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村が合併し、新市「常陸大宮市」が誕生いたしました。

今日の地域を取りまく厳しい環境や、今後一層進むであろう地方分権に対応し、新しいまちづくりを進めるため、歴史的にもつながりの深い5町村が合併に至ったものです。

新市は、その面積の約6割を森林が占め、高齢化が進んでいるのが特徴です。今後は、市としての一体感の醸成とともに、自然や森林資源の活用、産業の振興、生活基盤・行財政基盤の整備が課題となります。

合併を契機に、待望久しい県北西部地域中核病院の建設に歩みだすことができましたが、今後も、「新市建設計画」に基づく諸施策の展開を図り、市民の皆様とともに安心して住み良いまちづくりを進めてまいりたいと考えております。皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

地域の更なる発展を目指して進められてまいりました大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村の合併が、関係各位の方々のご努力と、市民の皆様方の深いご理解とご協力により、ここに実現し、市制施行を迎えましたことは、誠に喜びに堪えないところです。

5町村は、今日まで、先人の遺した輝かしい歴史と伝統のもとに、それぞれの地域の特徴を生かし、明るく、豊かなまちづくりにまい進してきたところではありますが、地方分権が推進される時代を迎え、より安定した行財政基盤のもとに住民福祉の向上を図るため、合併を目指したものであります。

申し上げるまでもなく、合併は目的ではなく、あくまで手段で、これからの新市の均衡ある発展のためには、住民が一つになって取り組まなければなりません。市議会といたしましても、皆様の期待に応え、豊かで活力ある地域づくりに最大限の努力を傾けてまいりますので、住民の皆様におかれましては、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『豊かな自然と調和した 安心・快適な活力のまち』を目指して歩みだした「常陸大宮市」へ、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



前田 尚利 収入役



三次 真一郎 助役



内田 善博 助役



長山 安隆 参与



大瀧 典夫 参与



坂本 忠夫 教育長

## 新市のプロフィール

■人 口 4万8,098人(H16.9.1) \*茨城の人口と世帯(推計)より  
常陸太田市、高萩市、笠間市などを上回り、県下18位の人口

■行政面積 348.38km<sup>2</sup>(H16.10.16) \*全国都道府県市区町村別面積より  
太子町、つくば市をも上回り、県下最大の行政面積

■農業産出額 63億円(H14年) \*生産農業所得統計より  
県下で24位

■製造品出荷額 1,067億円(H14年) \*茨城の工業より  
県下で20位

■商品売上額 707億円(H13年度) \*茨城の商業より  
県下で20位

■森林蓄積量 365万m<sup>3</sup>(H12.2.1) \*2000年世界農林業センサスより